

BCI.CBCI.v2026-03-23.q31

試験コード:	CBCI
試験名称:	Certificate of the Business Continuity Institute (CBCI)
認定資格:	BCI
無料問題数:	31
バージョン:	v2026-03-23
アクセス数:	134
ページビュー数:	310
https://www.jpnpdf.com/BCI.CBCI.v2026-03-23.q31-mondaishu.html	

最新問題: 1

ビジネス継続性を職務に組み込まれたものとして捉えるのではなく、従業員がビジネス継続性を受け入れることで付加できる価値を説明しているのは次のどれですか。

- A. 担当者は割り当てられた時間内に指示通りにタスクを完了します
- B. 担当者は事業継続性を認識しており、必要に応じて会議に出席する。
- C. 従業員は事業継続に責任を持ち、自分のタスクが迅速かつ細部まで注意を払って完了することを確実にします。
- D. 担当者は、ビジネス継続性はさらなるトレーニングを必要とする追加要件であると考えています。

Answer: C (メッセージを残す)

事業継続を真に受け入れる人材は、コンプライアンスを超えたコミットメントを示し、継続に関連するタスクが迅速かつ確実に完了するよう積極的に取り組みます。CBCI 7.0コースでは、このような姿勢がより良い準備体制の確立、リスクの軽減、復旧能力の向上につながり、組織のレジリエンス（回復力の向上につながることを強調しています。単に会議に出席したり、指示通りにタスクを完了したりするだけでは、関与度は低いと言えますが、継続性を真に受け入れることで、主体性と説明責任が育まれます。

参考資料: CBCI 7.0 学習ガイド、モジュール 4: ビジネス継続文化とエンゲージメント、72～74 ページ。

最新問題: 2

効果的な対応構造にとって重要な要件ではないのは次のどれですか？

- A. 社内外の利害関係者とのコミュニケーション計画
- B. 組織に必要なチームの数と種類
- C. エスカレーションと対応を実行する計画
- D. 規制当局にいつ通知し、対応に含めるべきかについてのガイダンス

Answer: D (メッセージを残す)

効果的な事業継続対応体制の構築には、コミュニケーション計画、チーム構成、エスカレーションと対応の訓練が不可欠ですが、規制当局への通知に関する具体的なガイダンスは、重要ではあるものの、通常は中核的な構造要素とは見なされていません。CBCI 7.0コースでは、規制当局へのコミュニケーションは通常、コミュニケーション計画に組み込まれますが、対応体制の独立した要件ではないことを概説しています。明確な役割、責任、そしてコミュニケーションメカニズムを確立することに重点が置かれています。
参考資料:CBCI 7.0 学習ガイド、モジュール 2: 応答構造、75 ~ 78 ページ。

最新問題: 3

ディスカッション形式の演習中に、参加者の安全を脅かす可能性のある脅威について、演習ファシリテーターに通知されます。ファシリテーターの次のステップは以下のとおりです。

- A. 状況についての詳細情報を収集し始める
- B. 事前に決められたコードワードを使用して、演習の中止をすべての参加者に通知します。
- C. 今後の進め方を決める時間を確保するために、短い休憩を取る
- D. 特に指示がない限り、演習を続行します

Answer: [\(解答を表示する\)](#)

全ての訓練において、参加者の安全は最優先事項です。CBCI 7.0コースでは、安全に対する真の脅威が発生した場合、ファシリテーターは事前に定められた合言葉または合図を用いて、訓練の中止を迅速かつ慎重に伝えることが義務付けられています。このプロトコルにより、参加者全員がパニックや混乱を引き起こすことなく、明確かつ一貫した方法で活動を中止するメッセージを受け取ることができます。詳細情報の収集や休憩の要請は、決定的な行動を遅らせ、被災者への危険をもたらします。脅威があるにもかかわらず訓練を続行することは容認されず、注意義務に違反します。

事前に確立された緊急通信プロトコルにより、参加者の安全を何よりも優先する迅速かつ安全な対応が可能になります。

参考資料:CBCI 7.0 学習ガイド、モジュール 6: 演習と検証、122 ~ 124 ページ。

最新問題: 4

ビジネス継続性管理システム (BCMS) の継続的な有効性と関連性を確保するために不可欠であり、BCMS を確立するための初期プロセスに組み込む必要があるのは次のどれですか。

- A. BCMSをどのように監視、レビューし、継続的に改善するかを決定する
- B. BCMSの認知度を高め、開発における成功したステップを強調するための内部および外部のコミュニケーションシステムを開発する
- C. 組織のあらゆる部分で健康と安全のリスク評価を実施し、BCMSの一環として毎年これらの評価を繰り返すことを約束する
- D. 会社全体で法的要件への準拠を確保し、あらゆるリスクの記録を作成する

Answer: A (メッセージを残す)

CBCI 7.0コースでは、継続的な監視、レビュー、そして継続的改善のためのメカニズムの構築がBCMSの基盤要素であることを強調しています。これにより、組織の状況やリスクの変化に応じて、システムの有効性、適応性、そして妥当性を維持できます。これらのプロセスをBCMSの初期設計に組み込むことで、変更への積極的な管理が容易になり、パフォーマンスの向上が促進され、ISOとの整合性も確保されます。

事業継続性に関する22301規格。通信システム、安全性評価、コンプライアンス登録は重要ですが、組織文化と業務にレジリエンスを組み込む構造化された継続的改善プロセスに代わるものではありません。

参考資料:CBCI 7.0 学習ガイド、モジュール 1: BCMS の確立、15 ~ 20 ページ。

最新問題: 5

組織のビジネス継続性に関する取り決めが最新の状態であり、組織の構造や運用状況の変化にかかわらず、インシデントとその影響に対応できる状態であることを保証するプロセスは次のとおりです。

- A. レビュー
- B. ギャップ分析
- C. メンテナンス
- D. 内部監査

Answer: C (メッセージを残す)

メンテナンスとは、組織や状況の変化に応じて、事業継続体制を最新かつ効果的な状態に保つための継続的なプロセスを指します。CBCI 7.0コースでは、メンテナンスには、計画とプロセスの定期的なレビュー、更新、テスト、調整が含まれ、準備態勢と妥当性を確保することが必要であることを明確にしています。

レビューと監査は重要ですが、メンテナンスは BCMS を進化するニーズに適応させるアクティブな継続的なプロセスです。

参考資料:CBCI 7.0 学習ガイド、モジュール 6: メンテナンスと継続的改善、140 ~ 143 ページ。

最新問題: 6

影響を受けた人々との関わりや責任への取り組みなど、組織がインシデントにどのように対応したかに関する情報を分析することで、組織の以下の点について洞察を得ることができます。

- A. 文化
- B. ビジネス目標
- C. ビジネスプラン
- D. 構造

Answer: A (メッセージを残す)

組織のインシデント対応、特に影響を受けた関係者との関わり方や説明責任の遂行方法を理解することは、組織文化を理解する上で重要な要素となります。文化は組織内で共有される価値観、信念、行動を反映し、リスクの認識と管理方法に影響を与えます。CBCI 7.0コースでは、強力な事業継続文化は、従業員が混乱に積極的に対応し、対応計画における各自の役割に責任を持つことを保証することを強調しています。インシデント対応を分析することで、コミットメントレベル、学習意欲、責任分担といった、レジリエンスを形成する要素が明らかとなり、この根底にある文化が明らかになります。この洞察は非常に重要です。なぜなら、文化は事業継続管理システム (BCMS) の有効性に直接影響を与えるからです。良好な文化は協力と継続計画の遵守を促進しますが、弱い文化は準備とコミットメントのギャップを露呈させる可能性があるからです。

参照:CBCI 7.0 学習ガイド、モジュール 2: 組織のコンテキストと文化の理解、35 ページ 38.

最新問題: 7

ビジネス影響評価 (BIA) を実行する準備をする際、ビジネス継続性の専門家は次のことを行う必要があります。

- A. プロセス中に適用される適切なパラメータと要因を評価するために、関連するすべての組織文書を確認します。
- B. 担当者と相談して、各部門での好ましい作業方法を決定します。
- C. 実施可能な潜在的な回復戦略とソリューションを検討する
- D. プロセスに外部通信手順が含まれていることを確認する

Answer: A (メッセージを残す)

CBCI 7.0 コースでは、BIA を実施する前に、ビジネス継続性の専門家が戦略計画、運用手順、リスク レジスタなどの組織ドキュメントを確認して状況を理解し、影響カテゴリや評価基準などの適切なパラメータを決定する必要があることをアドバイスしています。

この準備により、BIAが組織の目標とリスクと整合し、調査結果の正確性と関連性が向上します。担当者への相談、復旧戦略の検討、コミュニケーション手順の策定は重要ですが、これらは通常、BCMSライフサイクルの後半で実施されます。文書レビューによる適切な準備は、焦点を絞った効果的なBIAプロセスに不可欠です。

参考資料:CBCI 7.0 学習ガイド、モジュール 3: ビジネス影響分析、40 ~ 43 ページ。

最新問題: 8

ビジネス継続性戦略とソリューションの関係を最もよく表しているのは次の記述のうちどれですか？

- A. 戦略は事業継続ポリシーに定められた方向性と一致し、ソリューションは事業継続管理システム (BCMS) に概説された目標に対応します。
- B. 戦略はビジネス影響分析 (BIA) の結果に基づいており、ソリューションはリスク評価の結果に基づいています。

C. 戦略は組織の事業継続要件を満たすための高レベルのアプローチであり、ソリューションは戦略がどのように実装されるかを詳細に規定する。

D. 戦略は通常業務のやり方や手順に焦点を当てますが、ソリューションはリスクを最小限に抑えるための対策や行動に焦点を当てます。

Answer: C (メッセージを残す)

CBCI 7.0によれば、戦略とは、事業継続影響評価 (BIA) とリスク評価を通じて特定された事業継続要件に沿って、組織が重要な業務を維持または復旧する方法を定義する高レベルのアプローチを指します。一方、ソリューションとは、これらの戦略を効果的に実施するために展開される具体的かつ詳細な方法とリソースを指します。戦略は方向性を定め、ソリューションはそれを代替サイトの配置、バックアップシステム、コミュニケーション計画といった実用的な機能へと変換します。

戦略とソリューションを区別することで、BCMS 内の計画と実行の責任が明確になります。

参考資料:CBCI 7.0 学習ガイド、モジュール 5: ソリューション設計、88 ~ 90 ページ。

最新問題: 9

ビジネス継続性管理システム (BCMS) の定期的に計画された継続的メンテナンスの例は次のとおりです。

A. 代替サイトのバックアップ機器の点検を毎月実施する

B. 実際のインシデント発生後に事業継続計画を改訂するための是正措置を講じる

C. ニアミス後のシステムのパフォーマンスを部門長とともに検討する

D. 緊急建物避難後に避難手順を変更すると、手順に予期せぬリスクが含まれていることが示されます。

Answer: (解答を表示する)

CBCI 7.0 コースでは、バックアップ機器の月次点検など、定期的な保守活動が、事業継続性リソースの運用と使用可能状態を維持するために不可欠であることを強調しています。このような予防保守は、インシデント発生前に障害を検知し、システムの信頼性を維持するのに役立ちます。インシデントやニアミス発生後の是正措置やレビューも重要ですが、継続的かつ計画的な保守は、システムレジリエンスの予防的な基盤となります。避難手順の変更は事後対応的なものであり、継続的改善の一環ですが、定期的な機器点検は、計画的な保守活動として不可欠です。

参考資料:CBCI 7.0 学習ガイド、モジュール 6: メンテナンスと継続的改善、140 ~ 142 ページ。

最新問題: 10

中断に対応できるようにソリューションを実装する場合、ビジネス継続性の専門家は次のことを行う必要があります。

A. 設計フェーズで開発された各ソリューションの仕様をリリース前にレビューして修正します。

B. ソリューションを活用するチームと協力して、実装に必要な新しいシステムやツールを開発します。

C. 関連するチームに実装を割り当て、各チームに適切なスケジュールで実装を管理するよう指示します。

D. 実装チームが経営トップに問い合わせることなく仕様を変更できるようにする

Answer: B (メッセージを残す)

CBCI 7.0コースによると、ソリューションを使用するチームとの連携は、導入を成功させる上で不可欠です。この協力的なアプローチにより、実務上の考慮事項、システム要件、ユーザーニーズを早期に考慮し、スムーズな統合と運用化を実現できます。

また、オーナーシップと準備体制も促進されます。仕様を単独で改訂したり、連携なしに実装を委任したりすると、結果の整合性が取れなくなる可能性があります。監督なしにチームが一方的に仕様を変更できるようにすると、スコープクリープや誤適用のリスクが高まります。構造化された連携は、制御と柔軟性のバランスを取り、ソリューションが設計意図と実際の導入環境の両方を満たすことを保証します。

参考資料:CBCI 7.0 学習ガイド、モジュール 5: 実装とソリューションの展開、98 ~ 101 ページ。

最新問題: 11

新しい対応構造を開発する際に、既存の構造がすでに存在する場合、ビジネス継続性の専門家はどのように進めるべきでしょうか？

A. 新しい組織と計画が策定される際に混乱や忠誠心の混在を防ぐため、既存のチームと計画はすべて直ちに停止する必要があります。

B. 既存の計画を担当するチームと役割を評価し、必要に応じて調整し、トレーニングを提供して新しい構造に組み込む必要があります。

C. アプローチの継続性、コストの合理化を確保し、チームメンバーがビジネス継続性を受け入れるように促すために、以前の人員と計画はすべて変更せずに採用する必要があります。

D. 既存の役割を持つ人員には、新しい組織内で自動的に上級の役割が与えられ、以前の経験を活用して合意された新しいソリューションを変更する権限が与えられるべきである。

Answer: B (メッセージを残す)

CBCI 7.0コースでは、既存のチームと役割を評価し、必要に応じて新しい対応体制に統合するという実践的なアプローチを推奨しています。これにより、継続性が確保され、既存の専門知識が活用され、混乱が最小限に抑えられます。トレーニングを提供することで、人員を新しい期待と体制に適応させ、スムーズな移行を支援します。即時の解散は知識の喪失や混乱のリスクがあり、一方、軽率な採用や自動的な昇格は、時代遅れの慣行を固定化したり、ガバナンス上の課題を生み出したりする可能性があります。慎重な評価と意図的な統合は、組織の記憶を維持し、改善を可能にします。

参考資料:CBCI 7.0 学習ガイド、モジュール 2: 対応構造とガバナンス、78 ~ 81 ページ。

最新問題: 12

建物および作業環境リソースの観点から、インシデントが発生した場合に組織に属する別の作業エリアに業務を移転する戦略をサポートするソリューションは次のどれですか。

- A. 作業エリアと施設を再利用して、混乱時に組織の従業員が作業できるように手配できるようにする
- B. 混乱時に代替施設で作業を行うために元従業員と請負業者と契約する
- C. 事故が発生した場合に代替サイトをサポートするための別のサプライチェーンを作成する
- D. 緊急事態となるため、代替サイト内の既存のワークステーションと機器の周りで作業する必要があることを担当者に通知します。

Answer: A (メッセージを残す)

CBCI 7.0コースでは、移転戦略を支援するための重要な解決策として、混乱時に重要な人員と機能を收容するために既存の作業エリアと施設を再利用することが挙げられます。これには、スペースの変更、機器の再配置、効率的な運用を維持するためのレイアウトの変更などが含まれる場合があります。

このような事前の計画により、組織は迅速かつ安全に活動を再開できます。元従業員との契約や別個のサプライチェーンの構築は有効かもしれませんが、これらは実用的な物理的環境の確立が優先されます。従業員が準備不足の施設に適応することを期待すると、非効率性や士気の低下を招くリスクがあります。

ワークスペースの積極的な適応は、効果的な移転戦略の基礎となります。

参考資料:CBCI 7.0 学習ガイド、モジュール 5: ソリューション設計、90 ~ 92 ページ。

最新問題: 13

戦略計画:

- A. 別途の危機管理コミュニケーション計画によってサポートされる場合があります
- B. 運用チームの取り組みを調整するための実行可能なオプションを特定する必要があります
- C. 生命や環境への脅威を含む緊急事態に対応するための手順が含まれている必要があります
- D. 代替施設への人員輸送を調整するための手順が含まれる場合があります

Answer: A (メッセージを残す)

戦略計画は、事業継続のための包括的な枠組みと目標を定めるものであり、多くの場合、混乱時のコミュニケーションニーズに合わせて調整された個別の戦術的または危機コミュニケーション計画によって支えられています。CBCI 7.0コースでは、戦略計画が全体的な対応を導く一方で、詳細な緊急時対応手順とロジスティクス調整は通常、運用計画または戦術的計画に含まれることを明確にし、様々な計画レベルでの明確化と焦点化を実現します。

参考資料:CBCI 7.0 学習ガイド、モジュール 5: ソリューションの設計と計画、100 ~ 103 ページ。

最新問題: 14

戦略、戦術、運用計画は常に実行する必要があります。

- A. 同時に
- B. 全チームの完全な活性化が必要であると判断された後のみ
- C. 戦略チームからカスケードダウンする場合
- D. 関連するチーム計画に記載されている条件または状況に基づいて

Answer: D (メッセージを残す)

CBCI 7.0コースでは、戦略計画、戦術計画、運用計画の発動は、各計画に詳述されている条件またはトリガーイベントに基づいて行う必要があると規定されています。各計画タイプは、組織レベルやインシデント対応のフェーズごとに異なる目的を果たします。戦略計画は全体的な方向性を定め、戦術計画はそれを行動に移し、運用計画は詳細なタスク指示を提供します。インシデントの重大性、範囲、影響といったトリガー条件に基づいて、各計画をいつ発動すべきかが決定され、リソースの活用と対応効果の最適化が図られます。同時発動は現実的でも効率的でもありません。戦略チームからのカスケード発動は制御されたプロセスですが、最終的には事前に定義されたトリガーに依存し、秩序立った適切なエスカレーションが確保されます。

参考資料:CBCI 7.0 学習ガイド、モジュール 5: 計画と手順、84 ~ 87 ページ。

最新問題: 15

業務を再開するためのソリューションを実装するプロセスに含まれないものは次のどれですか？

- A. 対応体制と計画との整合性を確保する
- B. ソリューションのユーザーとサポートスタッフへのトレーニングの提供
- C. 優先活動に対するソリューションの影響を考慮して、活動のビジネス影響分析 (BIA) を更新する
- D. 組織のプロジェクト管理手順の遵守

Answer: (解答を表示する)

アクティビティBIAはソリューション開発の参考資料となりますが、BIAの更新はソリューション実装プロセス自体の一部ではありません。CBCI 7.0コースでは、ソリューションの実装は、運用計画、トレーニング、ガバナンスが整合され、効果的に展開されることに重点を置いていると説明されています。トレーニングは、担当者が新しいソリューションを適切に使用およびサポートできるようにするための準備を整えます。プロジェクト管理プロセスに準拠することで、構造化された管理された実装が保証されます。BIAは基礎的な分析ツールであり、通常はソリューションの実装時ではなく、定期的なリスクおよび影響評価時に個別にレビューまたは更新されます。BIAの更新と実装を混同すると、戦略評価と運用実行が混同される可能性があります。

参考資料:CBCI 7.0 学習ガイド、モジュール 5: 実装と保守、96 ~ 99 ページ。

最新問題: 16

ガバナンスの役割と責任に関して、主要な役割の所有者が病気、エリア外、またはその他の理由で利用できない場合に、各ビジネス継続性管理システム (BCMS) 役割の所有者の責任が確実に果たされるようにするには、何を実施する必要がありますか？

- A. ビジネス継続性の専門家が、不在の役割保有者の責任を一時的に引き継ぎます。
- B. 不在の役割保有者の責任は、代わりの者が見つかるまで保留される。
- C. 各主要BCMS役割保有者の代理として、主題専門家が割り当てられます。
- D. インシデント対応チームは、不在のBCMS役割保有者の責任を引き継ぎます。

Answer: C (メッセージを残す)

CBCI 7.0コースでは、BCMSの各役割に代理または代行者を任命することが、責任と意思決定の継続性を確保するためのガバナンスのベストプラクティスであると規定されています。代理者は、主要な役割を担う者が不在の場合に代理として行動し、業務の整合性と対応力を維持できる専門家です。正式な代理任命を行わずに、不在の役割をビジネス継続性専門家またはインシデント対応チームに任せると、遅延やギャップが生じるリスクがあります。責任を保留することは、継続性確保の取り組みを損なうため、容認されません。
参考資料:CBCI 7.0 学習ガイド、モジュール 1: ガバナンスと役割、24 ~ 26 ページ。

有効な **CBCI** 問題集は GoShiken.com が提供された合格しやすい CBCI 試験問題集！
GoShiken.com が最新の **CBCI** 試験問題集を提供しています。GoShiken.com CBCI 試験問題は最新で、解答が正確でございます。最新の GoShiken.com CBCI 問題集をゲットする人はこちら: <https://www.goshiken.com/BCI/CBCI-mondaishu.html>
(17930%OFF問題集溶と正解付きで 30%w 特別割引コード: **Freepdfumps**)

最新問題: 17

事業継続管理システム (BCMS) の範囲を定義する目的に関して正しくないものは次のどれですか？

- A. BCMSの対象となる組織領域と対象とならない組織領域を明確に理解できるようにします。
- B. BCMSの永続的なパラメータを確立します
- C. 組織の製品、サービス、活動に関するBCMSを定義します。
- D. 利用可能な時間と資金を最大限に活用します

Answer: (解答を表示する)

CBCI 7.0コースでは、BCMSのスコープ定義は動的なプロセスであり、設定されたパラメータは必ずしも永続的ではなく、組織のニーズ、リスク、優先事項の変化に応じて見直しや修正が行われる可能性があることを説明しています。スコープは、組織、製品、サービス、および活動のどの部分が含まれるかを明確にしますが、変化に適応するために柔軟性を維持する必要があります。永続的または固定的なパラメータは、BCMSを時代遅れまたは不完全な範囲に固定し、有効性を損なうリスクがあります。時間とリソースの効率的な使用は適切なスコープ設定の利点ですが、永続性は適切なスコープ定義の特徴ではありません。

参考資料:CBCI 7.0 学習ガイド、モジュール 1: 範囲とコンテキスト、27 ~ 30 ページ。

最新問題: 18

従業員にビジネス継続性を取り入れるよう働きかけることを目的とした情報共有の最も効果的でやる気を起こさせる方法は次のうちどれでしょうか？

- A. 文書、プレゼンテーション、研修資料を作成するときは、明確で誰もが理解しやすい言語を使用してください。
- B. 組織全体について詳細な説明を提供し、従業員が十分な関心を持っていることを確認するために定期的なテストを実施します。
- C. 会議への出席が記録され、スタッフの業績評価に反映されるようにする
- D. 電子メールまたはイントラネットが誰にとっても好ましい、最も便利なコミュニケーション手段であると想定して、すべての情報を電子メールまたはイントラネット経由で送信します。

Answer: A ([メッセージを残す](#))

CBCI 7.0コースでは、従業員のモチベーションを高める最も効果的な方法は、明確でアクセスしやすく、魅力的なコミュニケーションであることを強調しています。資料は、役割や経歴を問わず理解しやすく、専門用語や複雑な表現は避けるべきです。この明瞭さが理解を促進し、事業継続への真の関心を育みます。詳細な説明やテストは、参加者を圧倒したり、疎外感を与えたりする可能性があります。一方、メールやイントラネットのみに頼ると、必ずしも普遍的ではない好みを前提としてしまう可能性があります。出席記録は、モチベーションではなくコンプライアンスにつながります。参加者のニーズに合わせてコミュニケーションスタイルと配信方法を調整することで、エンゲージメントを最大化し、受け入れを促進します。

参考資料:CBCI 7.0 学習ガイド、モジュール 4: コミュニケーションとエンゲージメント、71 ~ 74 ページ。

最新問題: 19

合意された戦略を満たすソリューションを評価および選択する際に、リソースまたはアクティビティの所有者が考慮しないパラメータは次のどれですか。

- A. 提案された解決策の利点と欠点
- B. 戦略とソリューションを検証するために実施する演習の種類
- C. ソリューションの準備、実装、運用、保守にかかる推定コスト
- D. 実装に必要な時間

Answer: ([解答を表示する](#))

ソリューションを選択する際、リソースや活動のオーナーは、メリット、デメリット、コスト、導入スケジュールといった要素に注目します。これらの要素は、実現可能性や運用への影響に直接影響を及ぼします。CBCI 7.0コースでは、ソリューションのテストには検証演習が重要であるものの、ソリューション自体の選択と評価においては、後続の検証フェーズで計画されている演習の種類が考慮されないことが明確にされています。

演習計画は、ソリューション選択者ではなく検証チームによって処理される別のアクティビティです。

参考資料:CBCI 7.0 学習ガイド、モジュール 5: ソリューション設計、95 ~ 97 ページ。

最新問題: 20

ビジネス継続性の専門家が戦略決定プロセスの一環として実行するアクションは次のどれですか？

- A. 経営陣との合意のための戦略を設計し、優先製品、サービス、活動、およびプロセスの関連する所有者に委任できるようにします。
- B. ギャップ分析の結果とその結果に基づく行動計画をすべての外部関係者に通知するためのコミュニケーション概要を作成する
- C. 優先製品、サービス、活動、プロセスの提供に関連するスキルギャップに対処するために、すべての従業員に義務的なトレーニングスケジュールを作成する。
- D. 関連する製品、サービス、活動、またはプロセスの所有者と協力して、適切なソリューションの仕様を開発します。

Answer: D (メッセージを残す)

戦略策定は、事業継続専門家が優先製品、サービス、活動、またはプロセスの所有者と直接連携し、継続性要件を満たすソリューションの詳細な仕様を策定する協働プロセスです。CBCI 7.0コースでは、このパートナーシップが、戦略が実用的で、運用実態に合致し、復旧目標を達成できるものであることを保証するために不可欠であることを強調しています。

高度な戦略の策定とコミュニケーション管理は重要ですが、オペレーションオーナーとの実践的な連携により、現実的で実行可能なソリューションが実現します。このアプローチは、オーナーシップを高め、正確性を確保し、よりスムーズな実装を促進します。

参考資料:CBCI 7.0 学習ガイド、モジュール 5: ソリューション設計、92 ~ 95 ページ。

最新問題: 21

次のアクションのうち、復旧時間目標 (RTO) に関して優先アクティビティを保護し、優先アクティビティへの中断の影響を制限するのはどれですか。

- A. リスク評価の実施
- B. アクティビティビジネスインパクト分析 (BIA) の実施
- C. 許容できないリスクと単一障害点を軽減するための承認済みの戦略とソリューションのセットを作成する
- D. 許容できないリスクと単一障害点を所有者ごとにグループ化し、各アクティビティとリソースの所有者と話し合う

Answer: C (メッセージを残す)

優先業務を保護し、RTO（目標復旧時間を達成するには、許容できないリスクと単一障害点に対処する効果的な戦略とソリューションを策定・実装する必要があります。CBCI 7.0コースでは、リスクと重要ポイントを特定した後、承認済みで実行可能な緩和戦略を策定することが、混乱の影響を最小限に抑え、目標期間内に確実に復旧するために不可欠であ

ると説明しています。リスク評価と事業影響評価 (BIA)はこれらの戦略策定の基盤となりますが、事業継続を直接的に保護するのは、ソリューションの実際の開発と承認です。リスクをオーナー別にグループ化することはプロセスの一部ですが、それ自体が保護を提供するものではありません。

参考資料:CBCI 7.0 学習ガイド、モジュール 5: ソリューション設計、90 ~ 94 ページ。

最新問題: 22

組織全体でビジネス継続性管理システム (BCMS) の重要性と関連性について共通の理解を持ち、BCMS の使用方法を理解することは、次のような成果をもたらします。

- A. リスク評価へのアクセスを提供する
- B. BCMSの範囲の定義
- C. 効果的に伝達された事業継続ポリシー
- D. 事業継続運営グループの任命

Answer: C (メッセージを残す)

効果的に伝達された事業継続ポリシーは、組織のコミットメントの方向性を定め、BCMSの目的、適用範囲、そして関連性を明確にします。CBCI 7.0コースでは、ポリシーを明確に伝えることで、全従業員がBCMSの重要性とその適用方法を理解し、エンゲージメントと責任の共有を促進することを強調しています。適用範囲の定義と運営グループの任命は重要ですが、それだけでは組織全体の理解は深まりません。ポリシーは、認識と整合性を促進するための基盤文書として機能します。

参考資料:CBCI 7.0 学習ガイド、モジュール 1: BCMS の確立、15 ~ 18 ページ。

最新問題: 23

組織をビジネス継続性の組み込みから採用へと進めるプロセスをサポートするために、ビジネス継続性の専門家が実行するステップは次のどれですか。

- A. 組織を混乱から守るための事業継続ポリシーの開発と導入
- B. 組織の階層全体にわたってビジネス継続性の役割と責任を割り当てる
- C. 組織の文化を理解する
- D. ビジネス継続をプロジェクトとして実行するためのコンサルティング会社を雇うための資金をビジネス継続予算に含める

Answer: C (メッセージを残す)

CBCI 7.0コースでは、事業継続の実践を単に定着させる段階から、完全に受け入れる段階へと移行するための基礎ステップとして、組織文化の理解を重視しています。文化に関する洞察を得ることで、事業継続を既存の価値観、信念、行動と整合させ、エンゲージメントとオーナーシップを高めるための的確な介入が可能になります。ポリシーや役割の割り当ては重要ですが、文化的な整合性がなければ効果は低くなります。事業継続をプロジェクトとしてアウトソーシングすると、組織の現実から乖離するリスクがあります。文化を理解することで、効果的なコミュニケーション、トレーニング、リーダーシップ戦略が導き出され、事業継続の意識が組織全体に浸透します。

参考資料:CBCI 7.0 学習ガイド、モジュール 4: 文化とエンゲージメント、66 ~ 69 ページ。

最新問題: 24

ビジネス継続性ポリシーを策定するプロセスの一環として、次の点を確認することが重要です。

- A. ポリシーへのアクセスは、経営幹部と部門長に制限されています
- B. ポリシーは組織内で広く伝達されている
- C. ポリシーのコピーを受け取ったすべての担当者は、その内容を機密として扱うことを確認する必要があります。
- D. コミュニケーションスペシャリストがポリシーの配布と将来の改訂の管理を担当します。

Answer: ([解答を表示する](#))

CBCI 7.0コースでは、事業継続ポリシーの広範な周知が、組織の事業継続へのコミットメントとBCMSにおける各自の役割を全従業員が理解するために不可欠であることを強調しています。透明性は、従業員の関与と説明責任を促進し、従業員が事業継続の実践に取り組むことを促します。アクセスを制限すると、認識が制限され、実施が妨げられる可能性があります。機密性の高い手順には機密性が適用される場合がありますが、ポリシー自体は広くアクセス可能である必要があります。コミュニケーション専門家は配布をサポートする場合がありますが、ポリシーの普及と更新の責任は、一貫性と範囲を確保するためのガバナンス上の責任として残ります。

参考資料:CBCI 7.0 学習ガイド、モジュール 1: ポリシーとコミュニケーション、16 ~ 19 ページ。

最新問題: 25

ビジネス継続性ソリューションを有効にするには、次のことが必要です。

- A. ギャップ分析を実施してソリューションを提供する能力を測定する
- B. 特定のチームが従う必要のある対応活動と手順を詳述したガイダンス文書を作成する
- C. ビジネス目標が合意されたソリューションと整合していることを保証するための戦略を確立し、実行する
- D. ビジネス継続性ポリシーのレビューを実施し、合意されたソリューションの詳細が反映されていることを確認します。

Answer: C ([メッセージを残す](#))

CBCI 7.0コースでは、ビジネス目標に沿った戦略の策定と実行が、事業継続ソリューションの実現に不可欠であることを強調しています。事業継続ソリューションは、技術的に優れているだけでなく、組織の目標と優先事項を直接サポートするものでなければなりません。整合性を保つことで、事業継続の取り組みが、中断時および中断後に重要な業務を維持し、価値を提供することに大きく貢献することが保証されます。この戦略的アプローチは、リソースの割り当てを促進し、復旧活動の優先順位を決定し、事業継続計画をより広範な組織フレームワークに統合します。ギャップ分析、ガイダンス文書、ポリシーレビューはソリューションの実現をサポートしますが、戦略的な整合性がなければ、ソリューションは

ビジネスニーズから乖離し、経営陣の支持を得られなかったり、期待される成果を達成できなかったりする可能性があります。

参考資料:CBCI 7.0 学習ガイド、モジュール 5: ソリューションの有効化と実装、98 ~ 101 ページ。

最新問題: 26

通常業務 (BAU) 計画では、組織を元の状態に戻すプロセスを文書化し、次の事項を実施する必要があります。

- A. 何らかのインシデントが発生する前に詳細に開発される
- B. 復旧時間目標 (RTO) の逆順で活動を再開することに焦点を当てます
- C. インシデント発生前の主要リソースの可用性に基づく
- D. 影響を受けるリソースから生じる新たな脆弱性の可能性を考慮する

Answer: D (メッセージを残す)

通常業務 (BAU) 計画は、障害発生後に通常の運用状態を復旧することを目的として策定され、多くの場合、システムとプロセスをインシデント発生前の状態に戻します。CBCI 7.0 コースでは、これらの計画において、障害がリソースや運用環境に与える影響によって生じる可能性のある新たな脆弱性を考慮する必要があることを強調しています。インシデントは、制御の弱体化、インフラの損傷、ワークフローの変更といった変化をもたらす可能性があり、再発や新たなリスクを防ぐためには、これらに対処する必要があります。BAU計画は事前に策定する必要がありますが、リソースの可用性や復旧手順の逆転だけでなく、障害発生後の動的な状況を理解することにも重点が置かれます。このアプローチは、復旧におけるレジリエンスだけでなく、将来のインシデントに対する組織の強化にも役立ちます。

参考資料: CBCI 7.0 学習ガイド、モジュール 3: ビジネス影響分析と回復、60 ~ 62 ページ。

最新問題: 27

許容できないリスクと単一障害点を軽減するためのソリューションを選択する場合、アクティビティ/リソース所有者は次の点を考慮します。

- A. ビジネス影響分析 (BIA) の結果
- B. 将来的に顕在化すると予想されるリスク
- C. ソリューションの利点と欠点
- D. ビジネス継続文化指数

Answer: C (メッセージを残す)

CBCI 7.0コースでは、活動やリソースのオーナーがソリューションを評価する際には、コスト、実現可能性、運用への影響、組織目標との整合性など、各選択肢の長所と短所を慎重に検討する必要があることを明確にしています。事業継続性評価 (BIA) の調査結果は優先順位を決定し、将来のリスク予測は備えを形作りませんが、ソリューションの導入における実際的なトレードオフは意思決定の中心となります。事業継続文化指標 (BCI) は、エンゲージメントを測定するツールであり、ソリューション選択の直接的な要因ではありません。

バランスの取れた評価を行うことで、選択されたソリューションが効果的であるだけでなく、持続可能かつ適切であることを保証します。

参考資料:CBCI 7.0 学習ガイド、モジュール 5: ソリューション評価、95 ~ 97 ページ。

最新問題: 28

事業継続性と組織の事業継続管理システム (BCMS) を採用した人員の成果は次のどれですか？

- A. 組織文化を考慮し、組織に合わせて特別に調整された事業継続プログラム
- B. 開発段階における人員の関与により、BCMSの更新とレビューの必要性が軽減される
- C. 組織の回復力に関する公開情報に対する一般の信頼により、製品およびサービスの売上が増加
- D. 関係者が計画の効果的な実施に高いレベルのコミットメントを示したため、計画の検証は不要になりました。

Answer: A (メッセージを残す)

事業継続性に積極的に取り組む従業員は、組織独自の文化、リスク、そして業務の実態に合わせたBCMSの設計と導入を支援する文化を育みます。CBCI 7.0コースでは、従業員が事業継続の実践に積極的に取り組むことで、BCMSが組織の実際のニーズを反映し、実用的で受け入れられ、効果的な事業継続プログラムにつながることを強調しています。コミットメントは定期的な更新や検証の必要性を減らすものではなく、むしろこれらのプロセスの品質と妥当性を高めるものです。間接的に社会の信頼が高まる可能性はありますが、重要なのは、積極的な従業員によって推進されるBCMSが目的に合致したものであることです。

参考資料:CBCI 7.0 学習ガイド、モジュール 4: ビジネス継続文化、67 ~ 70 ページ。

最新問題: 29

従業員が事業継続に引き続き取り組み、組織を混乱の影響から保護できるようにする方法は次のうちどれですか。

- A. ビジネス継続に関する知識と理解の年次評価を実施し、担当者が満たさなければならない最低合格基準を設定する
- B. 関連する事業継続会議やトレーニングイベントを欠席した従業員を懲戒処分の対象とする
- C. 従業員と組織との関係を強化し維持するために、会議やイベントの導入の一部として事業継続性を取り入れる
- D. 事業継続活動に関する最新情報をイントラネット経由で提供し、従業員が興味があれば検索して読むことができるようにしています。

Answer: C (メッセージを残す)

コミットメントを育むには、事業継続性を単なる管理上の要件やコンプライアンス対策として扱うのではなく、日常の組織文化に根付かせる必要があります。CBCI 7.0コースでは、会議やイベントの導入部に事業継続性に関するトピックを含めることで、継続的な対話が促進され、その重要性が強化されることを強調しています。この実践は、懲罰的な措置や受動的なコミュニケーションよりも効果的な、責任と関与の共有意識を育みます。事業継続

性を日常的なやり取りに組み込むことで、従業員は事業継続性の重要性を内在化し、継続的な意識向上を促進し、組織のレジリエンス目標との連携を強化します。この積極的かつ包括的なアプローチにより、コミットメントは長期にわたって持続し、混乱時の対応力が向上します。

参考資料: CBCI 7.0 学習ガイド、モジュール 4: ビジネス継続文化の構築、65 ~ 68 ページ。

最新問題: 30

インシデント対応の準備の一環として、対応チームが会合を持てるように計画を策定しておく必要があります。会議施設の手配に関して、正しくないものは次のどれですか？

- A. 会議の手配は、すべてのチームメンバーが利用できる計画に記載する必要があります。
- B. 少なくとも2つの会議場所を明記し、チームリーダーがインシデント発生時にどちらを使用するかを決定する必要があります。
- C. 会議は常に仮想の場所ではなく物理的な場所で開催する必要があります
- D. 会議場所には継続的に利用可能な安定した電源が供給されなければならない

Answer: C (メッセージを残す)

CBCI 7.0 コースでは、効果的な対応には会議の手配における柔軟性が重要であることが説明されています。

会議を常に物理的な形で開催することを義務付けるのは現実的ではありません。特に、施設に混乱が生じた場合や、従業員がリモートワークをしている場合などはなおさらです。バーチャル会議機能は、物理的な制約があるにもかかわらずチームが会議を開催するために不可欠となっています。計画には、複数の会議オプション（物理的な会議とバーチャル会議）を明記し、安定した電力や接続環境といった不測の事態への対応策も盛り込む必要があります。会議の開催場所を明示し、リーダーに場所の選択権限を与えることで、迅速な対応と業務の継続性を確保できます。

参考資料: CBCI 7.0 学習ガイド、モジュール 2: 対応計画、79 ~ 81 ページ。

最新問題: 31

従業員がビジネス継続性とビジネス継続性文化を受け入れるよう働きかけるための適切な取り組みを実施するには、ビジネス継続性の専門家は次のことから始める必要があります。

- A. 全従業員と共有できるビジネス影響分析 (BIA) を実施する
- B. ビジネス継続性再開機能がビジネス継続性のニーズを満たしているかどうかを特定するためのギャップ分析を実行する
- C. 組織内で現在どの程度事業継続性が受け入れられているかと、望ましい事業継続性のレベルとのギャップを推定する
- D. 組織の現在の事業継続計画のギャップに関する情報を共有するためのコミュニケーション戦略を実施する

Answer: C (メッセージを残す)

CBCI 7.0コースでは、事業継続文化を育むための最初のステップは、従業員のエンゲージメントの現状と望ましい受容状態との間のギャップを推定することであると強調しています。この評価により、認識、コミットメント、理解が不足している領域が特定され、ターゲットを絞った取り組みを調整するための基準が提供されます。このギャップ分析により、研修、コミュニケーション、リーダーシップのエンゲージメントなど、文化的な隔たりを効果的に埋めるための介入策の優先順位付けが可能になります。BIAとコミュニケーション戦略は、より広範な事業継続の取り組みをサポートしますが、文化的なギャップを評価することは、意味のある行動変革を促進するための不可欠な前提条件です。

参考資料:CBCI 7.0 学習ガイド、モジュール 4: ビジネス継続文化、68 ~ 70 ページ。

有効な **CBCI** 問題集は GoShiken.com が提供された合格しやすい CBCI 試験問題集！ GoShiken.com が最新の **CBCI** 試験問題集を提供しています。GoShiken.com CBCI 試験問題は最新で、解答が正確でございます。最新の GoShiken.com CBCI 問題集をゲットする人はこちら: <https://www.goshiken.com/BCI/CBCI-mondaishu.html>
(179**30%OFF**問題集溶と正解付きで 30%w 特別割引コード: **Freepdfdumps**)

Valid CBCI Dumps shared by GoShiken.com for Helping Passing CBCI Exam!
GoShiken.com now offer the **newest CBCI exam dumps**, the GoShiken.com CBCI exam **questions have been updated** and **answers have been corrected** get the **newest** GoShiken.com CBCI dumps with Test Engine here:
<https://www.goshiken.com/BCI/CBCI-mondaishu.html> (179 Q&As Dumps, **30%OFF**
Special Discount: Freepdfdumps)